

平成 22 年北秋田市議会 12 月定例会行政報告

北秋田市議会 12 月定例会が開催されるにあたり、9 月 27 日以降の主な事項及び今後予定している事項について報告いたします。

市長部局

総務部

<総務課関係>

平成 22 年度職員採用試験については、平成 22 年 9 月 19 日（日）にノースアジア大学において統一採用一次試験が行われ、上級一般事務 26 人、初級一般事務 14 人、初級消防吏員 27 人、上級保健師 3 人が受験しております。

二次試験については、平成 22 年 10 月 16 日、17 日に本庁舎等において実施され、上級一般事務 10 人、初級一般事務 3 人、初級消防吏員 8 人、上級保健師 2 人が受験し、最終的に上級一般事務 3 人、初級一般事務 1 人、初級消防吏員 5 人、上級保健師 1 人の合格者を、平成 22 年 11 月 5 日付けで告示しております。

<総合政策課関係>

10 月 1 日から 11 月 30 日までの 2 ヶ月間にわたり、北秋田市民病院までのアクセスの検討のため、乗合タクシーによる 2 路線の実証運行を行いました。

10 月中の利用状況は、本城・市民病院線（本城～向本城～道城～上杉～市民病院）が 17 人、中屋敷・市民病院線（湯ノ岱～中屋敷～小森～市民病院）が 12 人とどまっております。この 2 路線については、11 月中の 1 週間、乗降調査を行っております。調査の回答と期間中の利用者の数値と合わせ、実証運行の結果を検証してまいります。

4 月から 9 月までの 6 ヶ月間にわたり、路線バスによる実証運行を行ってまいりました米内沢・市民病院アクセス線（森吉庁舎～米内沢駅～市民病院）については、米内沢駅での乗り継ぎを改善し、10 月から本格運行を行っております。

「秋田大学北秋田分校」の開設式・記念講演が11月17日に行われました。市役所本庁舎での看板上掲と記者会見のあと、交流センターで開催された直木賞作家で秋田大学客員教授・西木正明氏の記念講演には240名の市民が参加しました。これに先駆け、分校開設記念として、北秋田市とマタギ文化について触れる機会を設けることを目的に11月8日から19日まで秋田大学インフォメーションセンターにて「マタギ展」を開催し、延べ233人（一般116人、学生・職員117人）に訪問いただいています。

ふるさと会については、「東京鷹巣会」総会が11月7日に開催され、約170名が参加しました。また、「東京ふるさと森吉会」総会も11月21日に開催され、約120名が参加しております。

5年に1度行われる国勢調査については、10月1日を基準日に調査員223名が調査にあたり、現在、県への提出に向けて内容を精査中です。

<内陸線再生支援室>

9月30日から、県内では初の、内陸線（角館～阿仁マタギ）、路線バス、遊覧船、乗合タクシーの4種類の乗り物（乗合タクシーのみ1回限り）に自由に乗り降りできる田沢湖・角館エリア「4遊（フォーユー）パス」が販売開始となりました。現在、首都圏の大手旅行代理店での販売をめざし営業を展開しています。

乗車促進運動としては、マイレールキャンペーンを実施しています。「笑顔で応援広告」を募集し、10月から内陸線の車内吊りに笑顔の写真を掲載しています。1カ月間で165件の個人・団体・企業から応募がありました。また、10月1日からスタンプラリーも始まりました。

また、内陸線のPR活動として、各種団体・企業への営業活動や種苗交換会を始めとする県内イベントへの参加、TVCM、ラジオ放送を実施し、その他にも東北地域や首都圏のイベント参加、雑誌掲載、旅行代理店への積極的な売込みを実施しています。

財 務 部

<財政課関係>

平成22年8月26日から11月18日までの工事等発注状況（500万円以上）は、別紙のとおりとなっております。

工事等発注一覧表
 ※ 500 万円以上(消費税含む)

平成22年8月26日～平成22年11月18日

工事名(業務名)	契約年月日	契約額 (千円)	請負業者名
本庁舎樹脂製内窓取付工事	H22.10.4	14,175	朝日・成田経常建設共同企業体
財務部 1件		14,175	
クリーンリサイクルセンター2号炉ガス冷却室天井他耐火物補修工事	H22.10.29	10,815	ユニチカ(株)東京本社
市民生活部 1件		10,815	
ケアタウンたかのす スプリンクラー設置工事	H22.10.29	88,935	日通プロパン鷹巣販売(有)
阿仁診療所改修工事	H22.9.10	9,502	東北化工(株)
健康福祉部 2件		98,437	
舗装維持工事(市道 本城新田目線)	H22.9.2	15,750	秋田土建(株)
道路維持工事(市道 小淵喜鶴線)	H22.9.3	35,700	(株)松岡組
舗装修繕工事(市道 石坂大淵線)	H22.10.1	10,132	(株)藤島組
排水維持工事(市道 林岱線)	H22.10.4	7,980	(有)工藤設備工業所
村づくり交付金事業(合川地区)第01504号工事	H22.10.14	27,825	(株)佐藤庫組
流雪溝設置工事(市道 石坂大淵線)	H22.10.15	17,955	(有)米広組
排水維持工事(市道 高野尻線)	H22.11.16	7,014	(有)千葉建設
南部1号幹線工事(鷹巣処理区 その1)	H22.9.10	60,795	(株)津谷組
面整備工事(鷹巣処理区 その3)	H22.9.13	59,325	朝日建設(株)
面整備工事(阿仁合処理区 その1)	H22.10.15	7,087	古河林業緑化(株)
舗装復旧工事(阿仁合処理区)	H22.11.15	7,276	(株)松岡組

舗装復旧工事(鷹巣処理区)	H22.11.12	17,010	(有)丸栄建設
畑町団地新築工事(C棟)	H22.9.2	55,440	秋田土建(株)
住宅屋根トタン葺替工事(林岱団地)	H22.9.10	5,680	金田工務店
建設部 14 件		334,969	
村づくり交付金(合川地区)第 01503 号工事	H22.9.13	21,525	(有)宗和
林道小様線・橋梁(一ノ又橋) 改良工事	H22.9.10	39,480	古河林業土木(株)
市有林再造林事業	H22.9.10	9,555	大館北秋田森林組合
作業道三木田中谷地線開設事業	H22.9.10	14,647	(有)喜組
クウインス森吉源泉水中ポンプ交換工事	H22.10.15	7,770	(株)明間ボーリング
産業部 5 件		92,977	
阿仁中学校体育館改築工事	H22.8.26	315,000	秋田・花岡特定建設工事共同 企業体
中央公民館窓サッシ改修工事	H22.10.1	11,130	(有)小笠原工務店
薬師山スキー場スーパースターリフト更新工事(第2リフト)	H22.10.29	5,701	日本ケーブル(株)東北支店
教育委員会 3 件		331,831	
合計 26 件		883,204	

市民生活部

<生活課関係>

「高齢者の交通事故防止」などを運動の重点として、秋の全国交通安全運動を9月21日から30日まで実施しました。

運動初日の9月21日には、市役所前と森吉庁舎前を会場に北秋田警察署や各地区の交通安全協会及び交通指導隊員などが参加して、決起集会や交通安全パレードを行い市民に対して交通事故の防止を呼びかけました。運動期間中は、交通安全協会などが主催し児童や生徒に対する街頭指導や高齢者に対する安全運転体験型講習などが行われております。

交通事故防止の徹底を図るため、関係機関・団体等と連携を密にしながら地域と一体となった運動が展開されるよう努めてまいります。

「みんなでつくろう安心の街」をスローガンとして、10月11日から20日まで全国地域安全運動を実施しました。期間中には防犯旗掲揚のほか、10月15日には防犯指導隊や防犯協会員による全地区一斉ロックパトロール（無施錠点検）を実施し、地域防犯意識高揚を呼びかけました。

「北秋田市男女共同参画社会づくり基礎講座」が、11月23日交流センターを会場に約100名の参加のもと行われました。

当日は、人権作文の発表、講演、介護相談実例報告、パネルトーク等が行われ、人権を尊重した男女共同参画社会の推進に理解を深めていただきました。

秋の狂犬病予防接種については、10月2日から23日まで206頭に実施しております。

また、地域環境美化活動の取組について、秋の一斉クリーンアップを10月17日早朝に実施し、市民約4,500人の参加を得てポイ捨てごみ等の回収や公共広場の清掃を行っております。

<総合窓口課関係>

平成22年10月末現在の住民登録者数は、37,281人（男17,545人、女19,736人）で、世帯数は14,583世帯となっております。

一般旅券（パスポート）の交付件数は、8月1日から10月末日の3ヶ月間で113件となっております。

戸籍の電算化による窓口業務については、平成22年2月27日から業務を開始しております。一部（平成改製原戸籍等の電算化）については、本年4月30日に業務委託契約を締結し、11月12日に完成となり、事務処理や交付時間が短縮されサービスの向上が図られております。

国民健康保険者証の更新による交付状況については、平成 22 年 10 月 1 日現在、世帯数は 6,092 世帯、被保険者数は 9,925 人（一般被保険者 8,976 人、退職被保険者等 949 人）となっております。

健康福祉部

<福祉課関係>

10 月 20 日、第 2 回北秋田市障害者自立支援協議会が開催され、障がい福祉にかかる社会資源施設を明示した「支援マップ」づくりに取り組むことと障がい者の地域移行支援について話し合いが行われました。

保育園では、地域子育て創生事業（乳幼児安全安心対策事業）により公立 8 園と公立幼稚園 1 園に感染症予防の加湿器、手指消毒器、皮膚赤外線体温計等の感染症予防備品を購入して感染症等の予防対策を実施しております。また、公立 7 園に AED（自動体外式除細動器）を配備し、乳幼児が安心して保育を受けることができる体制整備を行っております。

子ども手当については、10 月支給期で対象世帯 1,911 世帯（6 月支給期 1,557 世帯）に支給いたしました。

8 月 1 日から開始した父子家庭（父子世帯 85 世帯）児童扶養手当の受付では、47 世帯（11 月 17 日現在）の申請受付があり、引き続き制度の周知と申請のお知らせを行ってまいります。

北秋田市ハートフル倶楽部委員会については、10 月 31 日、市内のレストラン主催による男女の集いに男性 16 人、女性 12 人が参加し、生バンドの演奏とカクテル等を楽しみながらハートフル倶楽部委員のサポーターのもとで出会いの交流が図られました。

<高齢福祉課関係>

敬老式を 9 月に各地区 10 ヶ所で行いました。75 歳以上の対象者は 8,019 人で参加者は 2,617 人（32.6%）でした。記念品は新敬老者 75 歳の方 643 人、米寿の方 218 人、白寿の方 13 人に贈呈しました。それぞれの地区婦人会の特色あるおもてなしで祝宴が行われました。

地域支援事業における介護予防事業については、10 月末現在 65 名の方が事業に参加しております。また、地域包括支援センター独自に介護予防教室等を開催しており、開催回数 19 回、参加者計 346 名となっております。

要支援者を対象とした介護予防支援業務については、9 月末現在 74 名の方がサービスを利用するため新たに契約を行っており、同現在 388 名が介護保険サービスを利用しております。

<医療推進課関係>

北秋田市上小阿仁村病院組合については、本年度末をもって解散する予定となっているため、10月1日を初日として、3回にわたり上小阿仁村と解散に向けた協議を行っております。

具体的には、資産及び資産形成のための負債については北秋田市で継承し、不良債務解消のための償還及び秋田県市町村総合事務組合離脱に係る清算金については一定の率で市村が負担する方向となっており、本定例会に関係議案を上程しておりますので、よろしくご審議をお願いいたします。

また、来年4月以降の森吉地区の医療体制については、公立米内沢総合病院の民間移管も視野に進めてまいりましたが、無床の市立診療所として体制整備することといたします。

<健康推進課関係>

成人検診事業の受診状況は、特定健康診査2,200人、一般健康診査46人、後期高齢者健康診査1,150人となっております。各種がん検診等は、胃がん検診2,215人、大腸がん検診3,364人、胸部総合検診3,816人、喀痰検査107人、前立腺がん検診1,284人、肝炎ウイルス検診16人、子宮頸部・卵巣がん検診900人、乳がん検診886人、骨そしょう症検診499人となっております。

また、特定健康診査の結果、動機づけ支援対象者は242人、積極的支援対象者は77人となっております。それぞれ特定保健指導を実施しております。

65歳以上の介護予防健診において特定高齢者となった方を対象に、運動機能向上・口腔機能向上・栄養改善・閉じこもり予防等介護事業予防事業を実施しており、63人の参加となっております。

「北秋田市健康・スポーツフェスタ2010」が10月2日、鷹巣体育館を主会場に開催され、約300人の市民の参加がありました。

肺炎球菌ワクチン予防接種については、10月末現在で164人、MRワクチン（麻しん・風しん）予防接種については、2期（5歳）が84%、3期（中学1年生）が82%、4期（高校3年生）が72%の接種率となっております。日本脳炎予防接種については、3歳児を対象に8月から開始し、10月末現在で58人に接種されています。

今年のインフルエンザワクチンは、3種類の混合型ワクチンが10月末現在で2,233人に接種されています。

市民の健康づくり事業の一環であるウォーキングについては、市内4地区で開催し、延参加者は612人で、その中で全てに参加した「完歩者」は80人となっております。

母子保健事業については、食育推進事業の体験学習型の食育探健隊（幼児対象のキッズコース・小学校1年生対象のジュニアコース）を5回開催し102人の参加がありました。母子手帳交付者は、10月末現在で93人。「こんにちは赤ちゃん訪問」は、新生児と乳児の全戸訪問をしており、10月末現在で113人となっております。

フッ素洗口事業については、10月末現在で幼稚園・保育園が91%、小学校が91.8%、中学校が63.6%の実施率となっており、実施者が増加し、むし歯予防としてフッ素洗口が定着してきております。

献血実施状況については、10月末現在で成分献血27人、全血献血482人となっております。

<市立阿仁診療所関係>

上半期の外来患者については、内科5,835人で、前年同期対比493人（7.7%）の減。外科5,677人で、前年同期対比137人（2.3%）の減。歯科2,081人で、前年同期対比15人（0.7%）の増となっております。

診療収入は、内科、外科、歯科の3科で148,189千円となり、前年同期対比8,010千円（5.1%）の減収となっております。

今後も現診療体制を維持継続し、地域住民と患者の健康保持と健全な運営のための努力を続けてまいります。

<国民健康保険合川診療所関係>

上半期の運営状況については、診療日数148日、外来患者数8,421人、1日平均56.9人、前年同期比で外来患者数1,543人（22.4%）の増となっております。

診療収入は、86,549千円で前年同期比13,587千円（18.6%）の増収となりました。今後も地域住民の健康を守るとともに、安定した経営のための努力を重ねてまいります。

産 業 部

<農林課関係>

今年の水稲は、7月からの局地的大雨や異常高温などにより穂数が少なく、9月中旬以降の日照不足による影響等で、作況指数は秋田県が「93」、本市を含む県北は「94」の不良となっております。

米の作付面積については、生産目標面積 3,426 ヘクタールに対して、作付確認面積は、3,386 ヘクタールで 98.8%の作付率となっております。

出荷状況については、11月9日現在で 387,616 俵が 2 農協に集荷されておりますが、買い入れ契約に基づく出荷量は 78.79%に留まっております。一方、一等米比率は 9 割前後と県内でも高く、食味値の高い品質の良い米が出荷されております。

青果物等については、4月～5月の低温や7月の豪雨、8月の高温など不順な天候により、各作物の生産量は前年比の 6 割前後の出荷であります。全国的な品薄状況から価格は高値で推移して販売額の縮小幅は比較的緩和されております。

本年よりモデル対策事業になった戸別所得補償対策事業については、管内 2 J A の対象 1,057 件に 11 月中旬、米所得補償分と水田利活用自給率向上事業分を合わせて、9 億 3 千百万円あまりが交付されております。

畜産については、市営高津森牧場が 6 月 1 日～10 月 30 日まで 152 日間、農家数 11 戸、実放牧頭数 48 頭、鷹巣牧場が 5 月 11 日～11 月 8 日までの 182 日間、農家数 16 戸で実放牧頭数は 77 頭が放牧され、両牧場とも放牧期間中事故もなく終牧しております。

8 月 30 日の豪雨災害による農地・農業施設災害は 6 か所発生し、国庫補助事業による査定審査が 11 月 15 日から 3 日間にわたり現地で行われ、復旧事業の発注を進めているところです。

18 年ぶりに 10 月 30 日から 11 月 5 日までの 7 日間の会期で開催されました第 133 回秋田県種苗交換会は、あいにくの天気にもかかわらず県内外から多数の参観者が訪れ、当初目標の 70 万人を上回る 71 万 1 千人の参観者があり、関係機関等の協力により大きな事故等もなく成功裡に終了することができました。

<商工観光課関係>

企業誘致関係については、阿仁萱草の秋田工業株式会社の第 2 工場が 11 月 30 日に完成し、新規雇用 5 名で 12 月 1 日から操業しております。今後はさらに新規に 5 名を採用する予定です。

萱草工業団地給水施設改良工事も 11 月 30 日に完了しました。

市の特産品推奨認定審査会が 10 月 14 日に開催され、食品 4 品目と工芸品 11 品目が新たに推奨認定特産品として認定を受けました。

また、10 月 30 日からの秋田県種苗交換会では、農商工フェアに市の推奨認定特産品を展示し多くの参観者に紹介を行っています。

11 月 29 日には首都圏の企業を対象とした秋田県企業誘致推進協議会（会長 秋田県知事）主催の「あきたリッチセミナー IN TOKYO」において、企業誘致活動を展開しました。

緊急雇用事業関係については、10 月から 2 事業 5 名を追加し失業者対策に取り組んでいます。

大館能代空港については、搭乗率アップに向け、北秋田地域振興局・北秋田市商工会と共同で秋田県種苗交換会会場においてパンフレット配布等の PR 活動を実施しました。

観光振興関係では、第8回北秋田市たかのす太鼓まつりが9月12日に大太鼓の館野外ステージで開かれ、市内から8団体と男鹿市のなまはげ郷神楽など3団体が迫力ある演奏と華麗なパフォーマンスを披露し会場から大きな拍手が送られました。

また、10月2日には秋田県環境保全活動とアサヒビール(株)が連携して植林活動を行う「うまい！を明日へ！クマゲラの森再生プロジェクト」が森吉山麓高原で行われ、全県から240名が参加し、森吉山の自然再生を図る植樹や奥森吉の雄大な自然景観を体感していました。

10月16日～17日には、第10回三鷹市姉妹・友好市町村わくわく交流フェスタが東京三鷹市で開催され、4,000人の来場者の中、物産販売や観光PRを行い北秋田市の観光振興を推進してきました。

17日には、森吉山ダム四季美湖まつりがダム周辺で行われ、地域住民と行政が協力し地域を盛り上げ活性化につなげていこうと、ウォーキングやカヌー・ボートフェスタのイベントを実施し、紅葉が始まったダムの魅力を満喫して大いに賑わいました。

10月19日～20日には、指定管理施設の現場説明会が大平湖グリーンハウスのほか9施設を対象に行われ、募集締め切り後の11月16日～17日には指定管理者指定申請者のプレゼンテーションが実施され、指定管理者選定委員会で候補者を決定しています。

12月4日には、東北新幹線青森延伸に伴うイベントに参加し、北秋田市に観光客を呼び込むための観光PR、物産販売等を行ってまいりました。

建設部

<都市計画課関係>

住宅リフォーム緊急支援事業については、11月15日現在で補助金交付決定数187件、交付決定額27,465千円となっております。

9月2日に請負契約を締結した市営住宅畑町団地建築工事は、順調に進捗し11月末に完成しました。老朽住宅(大町団地)の現入居者については、諸手続き等を終えしだい転居していただく予定です。

既設住宅については、屋根鉄板の葺替えをはじめ、汚水の公共下水道接続、屋外物置の更新、玄関ドア塗装等の内外改修工事を実施し、居住環境の維持向上に努めております。

<建設課関係>

地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業（繰越事業）については、計画7路線のうち道路維持工事5件（大野岱桂瀬線外4路線）及び流雪溝設置工事1件（大淵地区）をそれぞれ発注して、そのうち3件（大野岱桂瀬線外2路線）が完成しています。

地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業（繰越事業）については、計画20路線のうち道路維持工事15件（李岱芹沢線外14路線）を発注して、そのうち10件（小森摩当線外9路線）が完成しています。

災害復旧工事については、河川災害4件（大舟木沢川外3河川）及び道路災害8件（大印ノロ川線外6路線）の災害査定が終了し、復旧工事に向けて準備を進めています。

<上下水道課関係>

上水道事業については、鷹巣字下家下地区配水管布設工事（L=210m）1件が完成しています。

簡易水道事業については、七座地区簡易水道さく井・導水管布設工事（L=8m）1件が完成しています。また、小猿部地区簡易水道記録計更新工事、阿仁合簡易水道仕切弁取替工事の2件を発注しています。

公共下水道事業については、鷹巣処理区において、綴子字太田屋敷後地内と脇神字平崎上岱地内の面整備工事、脇神字赤川岱地内の幹線工事、脇神字平崎上岱地内の舗装復旧工事の4件、阿仁合処理区においては、阿仁荒瀬地内の面整備工事、阿仁小淵地内の舗装復旧工事の2件、合計6件を発注しております。

浄化槽市町村整備推進事業（阿仁地区市町村設置型）については、7人槽2基を発注し合計6基となりました。

消 防 本 部

<常備消防関係>

8月から10月末までの火災の発生は4件で、建物火災が3件その他1件となっており、本年1月からの累計は16件で、前年同期比4件の減で火災による焼死者は1名となっております。

救急出場は8月から10月末まで422件で、急病が301件で71.3%、次いで一般負傷が51件、交通事故29件その他41件となっております。

本年1月からの累計では1,314件で前年同期比178件の増となっており、特に8月が171件と前年比60件の増となっております。

救急隊別の出場件数は、鷹巣 582 件、森吉 250 件、阿仁 155 件、合川 223 件、上小阿仁 104 件となっており、鷹巣救急隊が全件数の 44.3%を占めている状況です。

また、救助出場は 17 件で 24 台 76 名の隊員が出場しており、交通事故が 10 件、救急支援が 6 件その他 1 件となっております。

捜索活動は、5月から10月末までに5件発生し、6人が生存発見され1人が死亡で発見されており、このうち防災ヘリ「なまはげ」は2件出動し、吊り上げにより4人が救助されております。

秋田県種苗交換会開催期間中には署員を増強した警備体制を執っており、救急要請が3件と火気使用状態の不備で4件の指導を行っております。

また、開催期間中は、協賛会場において婦人防火クラブの協力を得ながら住宅用火災警報器の普及PRを実施しました。

秋の火災予防運動期間中においては、一日消防署長を委嘱し消防業務を理解していただくとともに、火災予防、焼死者減少のPRと住宅用火災警報器の設置PRの協力を得ながら防災意識の普及に努めております。

住宅用火災警報器の設置状況については、8月から10月にかけて5,744世帯を戸別訪問調査した結果、一部設置世帯を含めて3,433世帯で設置されており、設置率59.7%となっております。

<非常備消防関係>

秋の火災予防運動初日の11月7日、市内4地区において火災を想定した遠距離中継、放水訓練を実施しました。

訓練内容は、消火栓を使用しないで貯水槽と河川、堤等の自然水利を利用し、ホース延長やポンプの中継操作等迅速、確実な動作を再確認しました。

教育委員会

<総務課関係>

平成21年度繰越明許費の地域活性化・きめ細かな交付金事業を利用した鷹巣中央小学校体育館、鷹巣中学校第二体育館屋根塗装工事、鷹巣中学校渡り廊下鉄骨部分塗装工事、学童研修センター・山村留学センター屋根塗装工事と平成22年度安全・安心な学校づくり交付金事業の森吉中学校地デジ設備工事は10月中に完成しました。

あきたリフレッシュ学園では、PR活動が功を奏し問い合わせや入園希望者が多くなり、10月に入ってからは、在園生9人の日もありました。県では、入園者の増えた場合の対応としては、指導員の派遣を講ずるとしており、連携した対応に努めております。

<学校教育課関係>

9月に市発明工夫展が開催され、ユニークなアイデアが盛り込まれた夏休みの傑作66作品の応募がありました。合川西小学校5年鈴木開登さんの市長賞「エコエコはっぱ」をはじめとする5人の児童の作品が特別賞に輝きました。秋田県学校関係緑化コンクールでは、学校林等活動の部で鷹巣南小学校が県緑化推進委員会会長賞、合川東小学校が県森林組合連合会会長賞を受賞しました。

9月13日には市文化会館において劇団四季による「こころの劇場」が開催され、仙北市と北秋田市の小学6年生555人が参観しました。

10月には各小・中学校で学習発表会や文化祭が開催され、各校の特色を生かしながら、児童生徒が日頃の学習の成果を精一杯地域の方々に披露しました。また、授業研究会や教科別研究会、市教育委員の学校訪問が行われ、児童生徒の学習状況や生活全般にわたる活動の様子、学校経営等について協議がなされました。

10月23日には「市内小学校の理科・社会科研究発表会」が鷹巣中学校を会場に行われ、前年を大きく上回る理科132題184人、社会54題79人の児童が熱心に発表しました。

10月30日には青森県東北町で男子第26回、女子第20回東北中学校駅伝競争大会が行われ、鷹巣中学校男子が見事に初優勝、女子も4位入賞を果たすなど大活躍しました。

来年度小学校入学予定者の就学時健康診断（対象者225人）を10月から11月にかけて実施しました。小・中学校は2学期のまとめの時期を迎え、12月26日から冬季休業が始まります。インフルエンザの感染防止、交通事故防止等について指導の周知徹底を図っております。

合川高等学校では、11月5日から7日までの3日間、本年度で最後となる「合川高等学校祭」が行われました。地域住民に感謝する学校祭として伝統の「路上ダンス」や「合高まと火」、北秋田市を代表する郷土芸能の「根子番楽」などが披露され、数多くの市民の参観を得ることができました。

<生涯学習課関係>

去る11月3日午後3時40分頃、北秋田市ひまわり陶芸ハウスにおいて火災が発生いたしました。原因については、当日、陶芸教室で本焼きが行われており、煙突の継ぎ目から高熱が漏れ屋根に燃え移ったものと推定されております。現在、さらに原因の究明が進められておりますが、今後の防火対策を踏まえた建物の復旧についても検討しているところです。火災予防に意を尽くされておられる関係各位にお詫び申し上げ、また、消火活動にご尽力いただきました方々にお礼申し上げます。

中央公民館においては、国のきめ細やかな交付金事業を活用し老朽化による窓サッシの改修工事を行いました。

11月14日には、阿仁公民館において、阿仁文化交流のつどいを開催しました。演示部門では日舞や大正琴など練習の成果を十分に発揮し、また書画や手芸などの展示も盛況で約450人の参観者が訪れました。

また、阿仁公民館分館廃止に伴い、各地区の公民館活動の推進を図るため、公民館活動推進員を配置し積極的な活動の展開を図っているところです。

高齢者大学移動研修については、11月10日に合川ことぶき大学(受講生60人)が青森市の陸上自衛隊青森駐屯地へ行き施設内を見学し、説明を受けております。高鷹大学(受講生290人)では内陸線を利用し阿仁合駅で駅舎見学や説明を受けたあと、阿仁森吉山のゴンドラで山頂まで行き、紅葉の森吉山を満喫して参りました。

10月16日から18日までの3日間、北秋田市文化祭が開催され、初日には平成22年度北秋田市芸術文化功労者賞表彰と奨励賞の授与式を行い、長年にわたり市の芸術文化の振興に貢献された1団体と個人3人に功労賞、秋田県美術展覧会で入選された4人には奨励賞の授与が行われました。また、市花壇コンクール表彰式も行われました。記念公演では、難病と闘いながらテノール歌手として活躍している本田武久氏が美しい歌声を響かせてくれました。展示会場となった阿仁ふるさと文化センターと阿仁山村開発センターには、91団体より約1,260点の作品が展示され、参観者は丹精込めた作品を熱心に見入っていました。また、演示の部は文化会館で開かれ37団体、約360人の出演者が日頃の練習の成果を披露しました。

國學院大学の研究開発推進機構伝統文化リサーチセンターの研究員や学生が、七日市の石倉岱遺跡の発掘調査を11月上旬に実施しました。これは、7月に大学と締結した「研究協力に関する協定」に基づき行われたもので、今後、調査結果がまとまり次第報告会が実施される予定です。

11月13日には第5回浜辺の歌音楽祭が文化会館で開催され、園児から一般のコーラスグループなど21団体が参加し、成田為三作曲の合唱曲などを発表しました。今回は、秋田大学の音楽科からも出演していただきました。記念演奏では声楽家の佐藤容子、寛子姉妹により成田為三ゆかりの曲等を披露していただき、最後は県民歌制定80周年を記念して参加者全員で県民歌を合唱して終わりました。

世界遺産登録を目指して、当市の板状土偶を始め県内の有名な土偶を展示した「秋田の土偶展」が10月20日から11月10日まで市文化会館に展示され、市内外より多くの方が見学に訪れました。

11月20日、昨年に引き続き文化財建造物めぐりツアーを実施しました。長岐邸では、今年8月に寄付を受けた所蔵品の一部が公開され、参加者らは熱心に見入っていました。

<スポーツ振興課関係>

8月7日から9月26日までの44日間、市文化会館において北秋田市出身の「バンクーバーオリンピック出場4選手を讃える展示会」が開催され、市内外から約720人の方にご来場いただきました。

8月28日には、第5回北秋田市スポーツレクリエーション大会の総合開会式が開催され、10月17日までの期間に14種目約1,650人が参加し、各競技において熱戦が繰り広げられました。

9月27日には、2010北緯40° 秋田内陸リゾートカップ100キロチャレンジマラソン大会（第20回）が秋晴れのなか2,000人を超えるボランティアに支えられて開催され、全国から1,722人のランナーが参加して限界に挑みました。

10月2日には、「北秋田市健康・スポーツフェスタ2010」が鷹巣体育館を主会場に約300人が参加して開催され、スポーツ関係ではラジオ体操100日運動の表彰とさわやかウォーキング、そのほかに「心と体のセルフメンテナンス」と題して講演も行われました。

11月15日には、鷹巣陸上競技場の公認検定に伴うトラックの一部改修工事が終了しています。